

井田小PTAだより

No. 2

井田小PTA
研修部発行

H・20年4月3日

PTA研修旅行

石見銀山遺跡をたずねて



石見銀山資料館前にて

去る一月十三日、私たちPTA会員は、研修を目的に石見銀山遺跡を訪れました。自身としては幾度か訪れていて、龍源寺間歩や大森の町並みをじっくり歩いた事もあります。が、世界遺産に認定され、その歴史的価値を改めて知りたいと思っていたので、見慣れた

風景でも不思議と新鮮な気分でした。これまで何気なく通り過ぎていた龍源寺間歩までの道のりが、ガイドさんの解説によって歴史の展示品として浮き彫りにされたり、全国にある鉱山蹟との違いである、自然との共生に納得させられたりと、期待以上に新しい発見がありました。

次の楽しみは、大久保間歩などの仙の山にある遺跡の公開です。旧代官所の資料にある銀製造プラントの跡地です。ここは誰も初めてでしょう。

身近な事柄にはつい厳しい評価をしがちですが、この日のガイドさんがふつと漏らした「大型バスで来て、景色だけ見てもこの価値は分からない」という一言と「ハゲ山の無い鉱山跡や旧坑道のすぐ脇に現役の上水道源がある現実には、一目瞭然の遺跡とは異なる価値を感じる事ができた気がします。特に近代の日本や最近の中国等をニューアスなどで見ると、自然との共生を成立させたこの鉱山遺跡は、今こそその遺跡であると思えました。この研修をお世話頂いた研修部の皆様に、心からお礼申し上げます。

教育講演会に参加して

公民館長さんの紹介で始まった今年の教育講演会には、新しく古いものを感じた。井田小学校を卒業され、社会で活躍してお

られる大先輩の話をお聴きしました。その話には、今の社会情勢があり、いつまでも受け継がれていくべき営み(教育)の大切さがにじみ出ていたように思う。講師の井田さんは、難しい話をされるわけでもなく、ありのままの現実を子供たちや地域の方々に、映像を交えながら紹介頂いた。活動の様子を聴くだけでなく直ちに観ることで、国や風土、そして文化の違いに気づけた一時ではなかったかと思う。紹介頂いた二つの国に、貧富の差や文化の違いはあれども映し出された子供や大人の映像は、『生き方の豊かさ』を感じるものであった。子供たちの屈託のない笑顔や素朴な学習風景に何か大切なものが伝わってきたように思った。

子供たちにとっては、観る映像や語られたことは新しいもので興味・関心を深める題材となったことだろうと思う。また、田舎である井田地区から世界で活躍する先輩を輩出したことは、将来の自分像を見つめる大いなる励みや機会となったことであろうと思う。

さらに、我々大人の側にとっては、『井田地区の教育力』の価値を再確認する場となったのではないかと思う。

講演を聴いた者の感じ方は様々であろうが、『違いの違い』(違っていていいことや違っていない事)や未来の財産として継ぐべきもの、何かを感じられた会ではなかったかと思う。井田さんの活動は、まさに今の新しい取り組みでありながら古き良き(信念)を物

語っていたように思われる。

今回の教育講演会は、講師の人選や実施に至るまでの過程に、小学校、公民館、幼稚園の教育機関が常に連携し、地域の方々に支えられながら取り組んできた様子が強く現れている。言い換えると井田小学校が「豊かな暮らしと人作り」の拠点となっていることを証している。と今まで以上に強く痛感した。

井田小学校を中心とした地域ぐるみの教育のあり方が萎むことなく多くの方々の理解を得ながら育み継いでいきたいものである。

母親委員会

今年度、母親委員会を任せましたが、力不足でありお役に立てず反省しています。親子ふれあい活動では、皆さんの協力準備から後片付けまでスムーズにすることが出来ました。夏の暑い時ですので、各家庭からの野菜の確保や衛生面では気をもみましたが、子供たちの楽しそうな顔を見ると親としてはやって良かったという気持ちになります。

学年ごとの活動では、各学年の母親委員さんが計画し、予算を考え、準備されるのは大変だったと思いますが、良い交流の場になったのではないのでしょうか。

保護者数が少なくなっている現在では、P

TA活動もほぼ全員参加の状態で大変な面も多いですが、井田の団結力で頑張ってきたと思います。

PTA卒業おめでとうございます

今年度は二名の会員様でした

幼小PTAを振り返って

平成七年に長男が幼稚園に入園以来、早いもので十三年が経過しました。大きな出来事だけで、幼稚園歌の作成、校舎・園舎の建て替え、市町合併に伴うPTAの改編、PTA活動の財源確保のためのアルミ缶回収作業、合併後も小規模校ながら子どもたちの活躍の数々、特に「バケツ稲づくりコンテスト」文部科学大臣表彰など思い出深いことがたくさんありました。その間のPTA活動において、学校・保護者・地域の皆様方には大変お世話になりました。深く感謝しています。

現在、市の学校再編実施計画の是非についての話し合いがされている中で、改めて学校と子ども、保護者と地域の関係の重要性を痛感しているところです。本校PTAのチームワークの良さや地域とのつながりを、今後とも継続していつて欲しいと思います。

最後になりましたが、教職員の皆様、PTA会員の皆様、地域の皆様、本当にありがと

うございました。ご健勝、ご発展をお祈りいたします。

井田小PTA卒業

振り返ると四年前に転校して来て、子供も不安でしょうが無いといった様子で登校して行った姿が今でも思い浮かびます。そんな不安でいっぱいだったスタートでしたが、こうして無事卒業を迎えられたのも、教職員の皆様、保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご支援のおかげだと感謝でいっぱいです。

文部科学大臣賞の受賞など心に残る貴重な体験の数々は子供にとって大切な思い出が出来た事を大変嬉しく思っています。ほんとうにありがとうございました

二名の卒業会員様には引き続き、井田小PTA・OB会員としてご協力お願いいたします。

編集後記

親子ふれあい活動、夏休み奉仕活動、学習発表会初参加等々、会員の皆様、地域の皆様ご協力ありがとうございました。

新役員新会員の皆様のご活躍をお祈りしております。